# ＷＥ21 ジャパンこうほく ニュース

2022 年 7 月
NO.132

認定 NPO 法人ＷＥ21 ジャパンこうほくは リユースリサイクル・チャリティのお店「ＷＥショップこうほく」をボランティアで運営し、その収益でアジアの女性たちが自立して暮らしていけるよう民際支援活動をしています。

発行　特定非営利活動法人ＷＥ21 ジャパンこうほく　〒223-0061 港北区日吉 2−12−7　TEL/FAX 045-563-1808

https://we21kk.org/　https://www.facebook.com/we21kouhoku/　https://we21kk.hatenablog.com

## 新年度始まりました！

第 18 回通常総会が 5 月 27 日開催され、提案した議案はすべて承認されました。
今年は 3 年ぶりに会員も含め会場で開催することができました。
総会に初めて参加した方もいらっしゃいましたので参加者全員が自己紹介をして楽しく交流することができました。

**こうほくの主な活動指標**

| | |
|---|---|
| 会員数 | 61 名 |
| WE ショップ事業高 | 13,385,782 円 |
| 寄付者数(延べ人数) | 4,478 名 |
| ボランティア数(延べ人数) | 1,961 名 |
| 民際協力・国内支援金総額 | 1,702,786 円 |
| 収益金・会費・寄付金より | 976,400 円 |
| 店頭募金・指定寄付金 | 726,386 円 |
| フェアトレード仕入額 | 160,035 円 |

## 代表よりご挨拶

今年は「WE21 ジャパンこうほく」が 2002 年大倉山で開業して 20 周年を迎えます。今まで支えてくださった全ての皆様に心から感謝申し上げます。

記念事業として、写真で 20 年を振り返る記念リーフレット、オリジナルデザインのおそろいの手作りエプロン、記念のオリジナル缶バッチ、の 3 つの作成をボランティアの皆さんと一緒に進めています。大勢集まるイベントなどはまだできませんが、今年は徐々に会場での報告会・学習会ができることを願っています。

20 年を節目に国内外の支援先を模索しつつ、チャリティショップとして WE21 ジャパンこうほくはこれからも地域の皆さまと共に歩みを続けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

長久保幹子（代表運営委員）

撮影のためマスクを外しております

# ― 講演会・報告会参加報告 ―

話者の声を同じ会場で聴く機会も少しずつ復活してきました。WE21 ジャパン青葉主催・WE21 ジャパンこうほく他の共催で開催した、映画「希望へのいのち～吉沢正巳」上映会および講演会(3/26)、こうほく総会後の企画でお話いただいた水地英子さんによる報告会(5/27)について、お伝えします。

## 「希望の牧場」吉沢正巳さん映画＆講演会

3 月 26 日新横浜スペースオルタで開催された、浪江町の「希望の牧場」で被曝牛を飼い続ける吉沢正巳さんのドキュメンタリー映画「希望へのいのち」と講演会に出席した。同じ浪江町から避難している WE21 ジャパン青葉の伊藤まりさんの企画である。吉沢さんは昨年、浪江町の町長選に立候補した。その時の吉沢さんのキャッチコピーは「浪江は元には戻れない」だった。吉沢さんは落選した。が、実際に現地に行けば、吉沢さんの言っていることが真実だとわかるだろう。

昨年の 4 月末に浪江や富岡、飯館を訪ねた。復興支援の名の下に道の駅や資料館、記念館、駅舎などが建てられていた。浪江町の町役場の裏側にも大都市並みの道の駅とショッピンセンターが出来ていた。その前にある大きな駐車場には多数の車が停まっていた。一瞬、町に多くの人が戻ったのかと思った。しかしそのナンバーは他の町や他県のものばかり。解体されて歯抜けになった町並み。放置された田畑。人影のない道路に点滅する信号。

吉沢さん「俺もこの被曝牛たちも原発事故の生き証人」

なぜ、吉沢さんが被曝牛を飼い続けるのか。売れない牛を飼い続ける意味があるのか。考え続けながら、黙々と牛の世話を続ける吉沢さん。その苦渋の思いの底には、国に翻弄されて満州に行き、戻ってやっと手に入れたこの地を開墾した父親への思いもある。福島はアンダーコントロール（統御）なんかされていない。

福島原発事故を忘れてはいけない。それを突きつけられた時間だった。　（運営委員　下島三重子）

## 「路上の人々」水地英子さんによる報告会

水地英子さん

総会後、大倉山店で 20 年ちかくボランティアをされている水地英子さんより路上で暮らす人々の現状をお聞きする機会を持ちました。水地さんは看護師をされていて、今は横浜寿町で健康相談をしつつ夜回り活動をしておられます。

横浜市では全区に路上生活者がいて、年 1 回の調査では昨年より少し減少したそうです。

しかしこの数字は、行政の基本方針によって目視で調査された数で、住所を転々としたり日雇いなどの仕事に就いたり食料確保のために移動していたりすると調査から漏れてしまうということも聞いて、本当の人数はもっと多いのではないかと思われます。

シェルター、簡易宿泊所、建設関係宿舎に居住する人や、インターネットカフェ、漫画喫茶、などで夜を過ごす人々も少なくないそうです。

また、コロナ禍で仕事がなくなったり、借金や負債から逃げたり、寮を出なくてはならなくなった人々がホームレス状態となっているケースもあるとのことです。生活保護については、条件が揃っていても申請するにあたり個々の理由（恥ずかしい、身内に知られたくない等）の為、受給までの道のりは遠いそうです。

報告を聞いて、人として適切な住まいに住むことができない状態の人々に私たちは何ができるのだろうかと考えさせられました。

このような状態にある人々に寄り添い、活動をされている方々に少しでも協力できたらと思います。

（運営委員　橋口朱美　原康恵）


**20 周年アニバーサリー感謝セール開催　全品半額**

(リメイク品・トレード品・一部商品を除きます)

チャリティショップ両店の企画をお楽しみにご来店下さい

**大倉山店　7 月 11 日(月)～23 日(土)**　月～金 11:00-18:00　土 11:00-15:00
17 日(日)・18 日(祝)休業

**日吉店　7 月 11 日(月)～13 日(水)**　10:30～17:30

ウィ子

**お待ちしております！**

## ボランティア募集！

例えばショップボランティアは、お店での接客、商品のディスプレイ、商品の値付け、寄付品整理など、週 1 回 2 時間程度から。
＊交通費実費払い

仲間との親睦も深まり、楽しく活動できます。

見学&体験大歓迎、随時ご相談ください。


大倉山店　weshopkohoku.ookuramahiyoshi　　日吉店　weshopkouhokuhiyoshi